



## 新年のご挨拶

目黒ユネスコ協会 会長 爲季 繁

令和6年(2024年) あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。目黒ユネスコ協会は、戦後 10 年に満たない 1954 年 10 月 3 日に創立されました。そして 50 年目の 2004 年に、ユネスコ運動をさらに推進するため NPO 法人化されました。

今年で創立 70 年、NPO 法人化 20 年の節目を迎えます。これを機に秋にも、これまでの歴史を思い返し、更なる発展に向けてのスタート台とするため、会員皆様の参加のもと、ご協力頂いている目黒区はじめ関係機関の方々をお招きして記念事業を実施したいと考えております。具体化は、今後、順次、進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

世界では、ウクライナ戦争が長期化する中、昨年 10 月にパレスチナのガザ地区を実効支配するイスラム武装勢力ハマスがイスラエルに越境攻撃したのを皮切りに、イス

ラエル軍と新たな戦争が始まっています。また、これらの戦争に対する意見の相違などから世界各国の間で分断が目立ち、世界中が不安定化しています。これは、世界平和への貢献を目指す目黒ユネスコ協会としては誠に残念なことです。戦争当事国には、一刻も早く停戦し、話し合いを通じて和平を回復することを心から願っております。ユネスコ憲章前文の「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」の言葉を実感し、かみしめています。

皆さま、今年もこの言葉を胸に、ニーズが高く継続してきている諸活動をさらに盛り立て、加えて必要とされる新たな活動にも積極的に取り組んでいこうではありませんか。

令和 6 年の年頭にあたり、会員・役員の皆様とともに、一つ一つ課題を乗り越えて、明るく、そして楽しく活動ができる良い年になることを祈念し、また、皆様のご健勝とご多幸をお祈りし申し上げて、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 日本語教室交流会

2023 年 12 月 16 日 (土) 午後 14 : 00 ~

めぐろ学校サポートセンター音楽室

参加 : フレンドシップメンバー (FM) 30 名・日本語スタッフ 10 名



交流会では、ボランティアスタッフ池田敦子さんのアイリッシュハープ・日本語教室学習者ウニョンさんの韓国の横笛デグムの素敵な演奏を聴き、しりとりや早口言葉にも挑戦して日頃の勉強の成果を披露しました。最後に日本語の歌「雪」と「お正月」を皆で合唱し、FM からのお土産のみかんを手に、1 月からの教室での再会を約束して 1 年を締めくくりました。

日本語教室委員長 加藤 光子

### ★★「めぐろユネスコチャンネル」YouTube からのご案内★★

ユネスコ青少年フェスタを YouTube で、1/20 から公開予定。各地の小中学生による SDGs の取組やインドネシアとネパールの文化等。目黒ユ協 HP で検索。是非ご覧ください。青少年委員長 神戸 陸太郎

目次 : 新年のご挨拶・交流会

・青少年/1P、・文化講座①

・受託教室/2、・美術展

・サイエンス教室/3P、・お知らせ/4P

## 文化講座① タイ国の文化そして工業と SDGs

講師：スニサー・ウィッターヤーパンヤーノン氏(東京外国語大学教授)

キッティパン・バンイーカン公使参事官(工業部)・サコン・ワナセッティー参事官(農業部)

主催：目黒区教育委員会 主管：NPO 法人目黒ユネスコ協会

日時：2023年10月21日(土) 14:00~16:00 緑ヶ丘文化会館 参加 約45名

初めに爲季会長が挨拶後、3名の講師を紹介した。外語大のスニサー教授とサコン参事官は学生時代に日本に留学の経験があり、お二人は完璧な日本語で講演され、とても素晴らしかった。(以下概要)

最初にスニサー教授が、『日タイ交流の歴史と言語から見る日タイ文化』

について講演くださった。600年も続く日タイ交流の歴史の中で、タイで王(太守)になった日本人の山田長政のお話。またタイ語の代表的な特徴の声調については、「馬が来る」「犬が来る」を「マー マー」と同じ文字で表記し、声調を変えることで意味の違いを表現しているそうだ。その他にタイ語のポライトネスについて貴重なお話を伺えた。

次に、キッティパン公使参事官が、『Thailand's Industry and Sustainable Development Policy』についてタイ語でご講演された。

1. 「タイの経済見通し」で特に注目すべきは観光分野で、今年上半期には前年比約5倍の成長があり、1300万人の観光客が訪れた。日本とタイの貿易は、2022年の貿易額は約6兆円で、日本は中国とアメリカに次ぐ第3位の貿易国だ。タイから食品加工品であるツナ、サーモンの缶詰や鶏肉(冷凍肉)、機械部品やゴムが日本へ輸入され、日本からタイへは機械部品や電子回路などが輸出されている。タイへの投資累計額では日本が第1位だ。

次に2. 「タイ産業の現状」を学び、3. 「持続可能な政策」としてタイ政府は、工業発展と環境保護を両立させ、2050年までに「カーボンニュートラル社会」、2065年までには「ネット0」を目指す環境ロードマップを策定。国連のSDGs ランキングで



参事官・爲季会長・公使夫妻・外語大教授

43位に上昇し、環境政策を強化している。バイオ経済、サーキュラー経済、グリーン経済に焦点を当てた「BCG政策」を進行中で、特にバイオ経済ではバイオディーゼルの分野で世界的な実績を上げている。サーキュラー経済では、2027年

までに廃棄物のリサイクル率を増加させる施策を進めており、工業団地の環境基準やEVの普及にも注力している。

タイの工業の持続可能な発展は、自国だけの努力では成し得ないもので、日本からのご協力に負うところが多大だと、感謝の意を述べられた。

最後にサコン参事官が「タイ農業の概況とタイの世界農業遺産」についてお話しされた。琉球王国とタイと貿易が盛んに行われた水船は、目黒区のタイ大使館に模型がある。また両国の長い交易の歴史を象徴する品として長崎からシャムに伝わった「鶏卵素麺」や、タイ(シャム)から持ち込まれたとされている「軍鶏」「しゃも」もある。また沖縄のお酒の泡盛は、原量が昔からタイ米を輸入して作っており、日本とタイの間の長い関係を象徴している。そしてスマート農業を目指す「タイ農業の概況」や、「タイの世界農業遺産」では、『タレー・ノイ湿地帯の水牛牧畜・農業生態系システム』を世界農業遺産に認められるために、タイの視察団が日本へ何度も足を運んで学び、昨年遂に認められたそうだ。

タイの文化や言語、工業や農業、そして日本との関係など、大変興味深く学ぶことが出来た。

研修委員長 山田 香代

### 受託語学教室

### 『インドネシア語初級講座』 ~少々早い忘年会~



少し早い忘年会でしたが、11月22日(水)、インドネシア料理レストラン「チャベ」で、クスワン先生(前列右から2人目)はじめ12名参加のもと忘年会を行いました。和気あいあいの雰囲気でもとても良かったです。皆様完食され楽しい時間を過ごすことが出来ました。

世話人: 爲季 登利子

## 第57回 ユネスコ美術展 (第58回目黒区文化祭参加)



日時：2023年11月22日(水)～26日(日) 場所：目黒区美術館区民ギャラリー

ようやく木々の梢も色づいて秋の深まりを感じられるようになった清々しい晩秋、目黒ユネスコ美術展が5日間の日程で開催されました。「美術(芸術)は、如何に平和に貢献できるか」を命題に57回目を迎えた本展覧会は、目黒ユネスコ美術作家、ユネスコ会員による絵画、陶芸、絹刺し、書、写真、ガラス工芸、ユネスコ美術教室の作品など幅広いジャンルの作品が出品され、見応えのある展示となりました。そして、会場の半分には、ユネスコスクールでもある気仙沼中井小学校、目黒区のユネスコスクール五本木小学校・トキワ松学園中学校高等学校、目黒区の子どもの作品もたくさん並びました。

今回、ウクライナ募金への返礼として送られてきたウクライナ難民の方達の手作りのミサンガを差し上げる形でさらに募金を募りました。同時にウクライナの子どもの作品の展示も企画したのですが、流石に現在の情勢ではそれは叶わず、ピエンナーレ開催となった本展覧会の2年後にそれを実現したいとの強い思いを抱きました。

今だに戦争や紛争が絶えない世界の現実に胸が痛みます。平和な日本の伸び伸びとした子ども達の作品を見て、美術を通して平和な世界を未来を担う子ども達に手渡す願いを改めて感じる展覧会となりました。

ユネスコ美術展実行委員長 鈴木 純夫

## サイエンス教室 『LED コマを回そう!』

講師：内田裕之氏(S E 1 級アマチュア無線技士)

主催：目黒区教育委員会 主管：目黒ユネスコ協会

協賛：横浜みどりクラブ(YMC)

日時：2023年12月3日(日)14:00～16:00

場所：五本木小理科室 参加児童：22名 関係者：多数



最初に、内田講師ご挨拶および YMC メンバー紹介と無線のデモンストレーションがあった。続いて、為季会長からユネスコ活動(教育・科学・文化交流を通しての平和活動)のお話。アマチュア無線とユネスコ活動、それらを見聞きし SNS とは違った世界の人々との繋がりを感じた。

今回は、来月はお正月! ということで、縁起物の独楽(こま)を円形基板と LED で製作。からくりは、コマをクルリと手でまわすことにより起こる遠心力でスイッチが入った LED ライトが点滅し光る! という仕組み。

教室ではまず、講師から注意事項などの説明があった。  
①基板に通した細いリード線は飛び散らないように手で押さえて切断し、残りのリード線は鋭いので気をつけて紙コップ簡易ゴミ入れへ。②300℃にもなるハンダゴテやブルーライトから目を守るために用意されたメガネを装着して作業をすること。火傷に注意。③ボタン電池はステンレスや電気が流れてしまうところへは絶対に置かない。家に帰ってからも、

ボタン電池交換廃棄の時は電池同士を接触させないように取り扱いや捨て方には細心の注意を要する。

いよいよ製作、手順が書かれたプリントを見ながら各テーブルにいる YMC メンバーの助言を受けながら作業を進めた。円形基板に青・赤・黄・緑の4色のLEDライトをお好みの配色でリード線のプラスマイナスに気をつけて円形基板の穴へ通し、ペンチやハンダゴテを使って設置、ボタン電池をセットし完成。ハンダ付け初めて多数のなか「1・2・3 パッ!」と絶妙なタイミングの受講者もいて感心した。

最後に、皆で元気にコマを回した。参加対象は小学校3～6年生だったので完成にはタイムラグはあったが、個性的で美しい発色のLEDコマができた。「コマが回って嬉しかった♪」「勉強になりました。」「回路とか学べて良い体験ができました。」「ハンダゴテ初めてやりました。」「また、こういうのをやってみたい!」と喜びの言葉と笑顔が返ってきた。

広報 太田 優枝

## ■新年会のお誘い

日時：2024年1月27日(土)13:30～

会場：目黒区役所1F レストラン、

参加費：500円/軽食付き

内容：新入会員&amp;語学教室等紹介・合唱・福引・他



## ■書きそんじハガキ回収キャンペーン

～ユネスコ世界寺子屋運動にご協力を～

期間：2024年1月16日(火)～2月5日(月)

目黒区各施設・区立小中学校・目黒ユネスコ事務局に設置する回収箱へ入れてください。

回収するもの：書きそんじハガキ、未使用切手、

未使用テレフォンカード等

ハガキは切手に換え、テレフォンカード等は現金化して日本ユネスコ協会連盟の世界寺子屋運動に寄付します。

ご協力をお願いいたします。(チラシ参照。)

## ★美術教室「紹刺し」

日時：2024年2月2日～3月8日(金)全5回14:00～

会場：緑が丘文化会館 費用：4,000円(材料費)

講師：黒川朋子氏 募集:20名 応募多数/抽選。

申込：往復ハガキ ・1/15区報&amp;チラシ参照。

## ★ユネスコ国際文化交流講座

～ユネスコ無形文化遺産登録を目指す～  
「日本酒の文化と魅力について」

日時：2024年1月20日(土)10:00～12:00

会場：中目黒GTプラザホール

募集：80名(先着順)・参加費：500円(試飲代)

講師：門司健次郎氏(元ユネスコ日本政府特命全権大使)

山田琴子氏(日本酒の親善大使)

※詳細HP参照。問合せ：研修/山田まで。



## ◇ 訃 報 ◇

◇ 江藤 甚一郎氏 元理事

ご活躍に感謝し心からのご冥福をお祈りいたします。

## ●都ユ連研修会(神宮外苑・聖徳記念絵画館見学会)

日時:2024年2月23日(金/祝)14:00～17:00 集合/信濃町

国立競技場・神宮球場・秩父宮ラグビー場・絵画館・他

参加費:(会員対象)1,000円 主催:都ユ連

締切:1月31日 申込・問合せ:事務局まで(担当/齊藤)



発行人：NPO法人目黒ユネスコ協会 為季 繁 編集：広報委員会 〒153-0053 東京都目黒区五本木2-24-3

TEL.03-5725-6150 FAX.03-5725-6160 e-mail:meguro@unesco.or.jp http://www.unesco.or.jp/meguro/

会費等振込先：NPO法人目黒ユネスコ協会 郵便振替：00190-8-187774 銀行振込：みずほ銀行祐天寺支店(普通)1004948

## ★ユネスコ国際交流ひろば

「小田原城・地球博物館日帰りバスツアー」

日時：2024年2月14日(水)8:30～17:30(予定)

集合場所：目黒川船入場

参加費：日本人2,500円、外国人2,000円

募集人数：80名(申込多数/抽選)

申込：往復はがきで当協会宛に。締切：1月26日

詳細チラシ参照。問合せ：事務局/久富まで。

## 活動日誌10月～12月

★10/4(水)インドネシア語初級講座

■10/11(水)発送連絡会

★10/21(土)ユネスコ文化講座①「タイ国」

■10/28(土)第4回理事会

★11/2(木)フランス語初級講座

▲11/22(水)～26(日)目黒ユネスコ美術展

★12/3(日)サイエンス教室『回れLEDコマ!!!』

★12/16(土)ユネスコ文化講座②「韓国料理」

★12/17(日)ユネスコ青少年フェスタ



## 1月以降の予定

▲1/9(火)目黒ユネスコ日本語教室冬期開始

■1/10(水)発送連絡会

■1/16(火)～書きそんじハガキ回収キャンペーン

★1/20(土)ユネスコ文化講座③「日本酒の魅力」

■1/27(土)新年会

★2/2～3/8(金)美術教室「紹刺し」

★2/14(水)交流ひろば「小田原城日帰りバスツアー」

★2/23(金祝)サイエンス教室

●2/23(金祝)都ユ連研修会(神宮外苑・聖徳館見学)

■自主語学教室6講座(仏1・英2・独1・伊1・中1)

■目黒ユネスコ協会主催

●目黒ユ協会の関連機関・団体との協力事業

▲目黒ユ協会の関連機関・団体との共催事業

★目黒教育委員会からの受託事業

最新情報は  
HPからどうぞ

## 編集後記

バオバブで有名なマダガスカルを昨年の秋訪れた。動植物の観察に、現地の村のボランティアも兼ねての旅行である。水道や電気もない人々の暮らし、首都アンタナナリボにあふれる路上生活者。フランスによる植民地から独立以降の国政の困難さがうかがえる。

暖房の効いた部屋で見るテレビは、侵略・殺戮・破壊を知らせる。私たちのこの暮らしは、他国の誰かの犠牲のうえにあるのではないか、人間のたどった歴史や文化とは何だろうと考えてしまう。 鈴木やよい

